



AKITAKATURNS
FILE.

06



TYPE
賃貸
物件

AKITAKATURNS FILE.

06

ペットと住みたい
広々軒家で夢の暮らし



name.

福田 菜摘 さん
嵐森 信吾 さん

大家さんの声

就職先が安芸高田市内に決まったことがきっかけで引っ越してきました。
この家に住み始めたのは、ペットが飼える物件だったから。近所に迷い猫がいるのを知り、保護したくて。猫と暮らせる家を探していたところ、この家を紹介してもらいました。
入居前、洗面台とお風呂、トイレを大家さんが直してくれました。洗濯機を置く場所もつくってもらって。水回りが整った状態で住み始められたので快適です。直してくれた大家さんにはとても感謝しています！
小さな一軒家ですが、二人で住むには十分な広さです。もともと客間だったところは、勉強部屋として使っています。漫画が大好きなので、大きな本棚を入れました。タンス等の家具は、入居時に残っていたものです。好きに使っていいよと言ってもらえて助かっています。
住みやすいですよ。古い家なので、すきま風があつたりしますが、全然気にならないくらい、大満足です。ご近所さんにも、野菜を頂いたり、気にかけてもらっていますしね。
まさかペットと一緒に一軒家に住むことができるなんて。願ってもみなかったことが叶いました。じきにもう1匹、保護猫を受け入れる予定です。

人口の減っているこのまちに、若い人が越えてきてくれるのは嬉しいことです。水回りのリフォームは、引っ越し前が私が負担して行いました。せっかくなら住み続けてもらいたいですからね。慣れない土地ではわからないことも多いはず。これからも、何か困ったことがあったら、いつでも頼ってみたいです。



AKITAKATURNS
FILE.

05



TYPE
所有
物件

AKITAKATURNS FILE.

05

まずは賃貸の一軒家に住みながら、
家をまるごとリノベーション



name.

伴井 護 さん
友里絵 さん

大工さんの声

大阪に住んでいる時、無農薬のお米が食べたいと思って取り寄せたら、それが安芸高田のお店からの発送でした。そのご縁を頼りに、ここへ。「赤い屋根の小さな家に住みたい」と空き家バンクを探して今の家に辿り着きました。
せっかく住むなら自分でリノベーションしてみたい。でも、はじめは到底住める家じゃなくて。なので、近くの「一軒家に住み始めることになりました。改修しながら住むのではなく、まずは賃貸に住み、仕事や生活に慣れながら、徐々に家の準備をして。無理のないスタートを切ることができましたね。
自分で直すのって、おもしろいです。技術も身に付き、「ま、このくらいいいかー」という調整にも自分らしさが見えてきます。壁や床、小上がりも自分で直しましたが、お気に入り、最近つくった囲炉裏ですね。地元の鉄工所の方をお願いして枠だけ設えてもらい、余っていた木材を使って完成させました。火を家の中で見られるって、いいですよ。囲んで朝ごはんを食べたりしています。
家はだいたい整ってきたので、次にチャレンジしたいのは畑づくりです。工夫しながら、自分で何かを創り出すスキルを身に付けながら暮らしていきたいと思っています。

若い人が他所から引っ越してきて家を直すという依頼は珍しいことでした。自分で直したいと聞き、専門的なアドバイスと技術の必要な作業をお手伝いしました。古い家は、作業を進めるうちに直す箇所が増えることがあります。予算を決めておくとお互いに安心です。でも何より、気に入った家に住むのが一番です。その後、手を加えればいいですからね。